



International Exchange Bulletin

とちぎ国際交流

第 21 号

1992年(平成4年)9月号
編集発行

(財)栃木県国際交流協会
Tochigi International Association
〒320 宇都宮市昭和1-2-16
栃木県自治会館1階・3階
TEL (0286) 21-0777(代)
FAX (0286) 21-0951



馬頭町・諏訪神社祭礼 富山のササラ舞（とちぎのまつり百選より）提供：馬頭町役場

馬頭町富山の諏訪神社で開催される4つの祭礼のうち最も盛大なものが、9月26日～27日の例大祭で、五穀豊穣、家内安全、災難除けを祈願して「ササラ舞」が奉納されます。

ヒョットコ面をかぶった2人の“スッコ”と“フクベ”が3匹の獅子をリードしながら、竹で作った楽器の一種であるササラやサンショノボウを持ってユーモラスに舞います。

The festival of Suwa shrine “Tomiyama Sasara Mai”

This is the biggest of four festivals at Suwa shrine. The dance called “Sasara Mai” will be performed on September 27th. It is a offering dance to pray for good harvest and good for-

tune. Two people wearing Hyottoko masks lead three Shishi (Chinese Lions). These two people are called “Sukko” and “Fukube.” They humorously dance with Sasara(a kind of instrument made of bamboo) and Sanshonobou.

Place : Suwa shrine at Tomiyama, Bato town
Transportation : 20min. by bus to “Bato” from JR Karasuyama station (JR Karasuyama Line) and 20min. walk from Tomiyama bus stop.

今号の主な内容

- ★特集「高校生の海外留学」 P2
- ★第4回アジアのタバ「韓国編」 カメラルポ P4
- ★食文化体験交流会リポート P5
- ★「外国人のための生活相談」開催 P8

特集・青春期の貴重な体験！

高校生の海外留学

高校生の海外留学は、たんに語学力を伸ばすだけではなく、感受性豊かな時期に、海外で異文化に触れ、視野を広め、健全な精神を養うことができるというメリットがあります。

栃木県内の高校生の留学状況を見ると、ここ2年間は少し減少したものの、平成元年度の51名をピークに、年間30人以上が世界各地に留学しています（栃木県教育委員会事務局高校教育課調べ、対象：県立高校）。

今回の特集は、これから海外留学を考えている中学生・高校生へのアドバイスです。

高校生の場合、海外留学には“交換留学”と“私費留学”的2種類がありますが、今回は留学プログラムを扱う団体が主催する、一般的な“交換留学”について説明します。

何のために留学をするのか

留学を決意する人の動機は様々です。特に高校生の場合、漠然とした外国への憧れや、外国へ行けば語学が上達するだろうという甘い考えから、留学を希望するケースがあります。これらの考えは捨てたほうが良いでしょう。何よりもまず、留学して何を得たいのか自分自身に問いかけ、その内容を具体的にすべきです。最低、留学する1年前までに決心してください。

留学団体をチェックする

さて次に、どんな留学プログラムがあるのかを調べる必要があります。様々な団体がありますので（一部後記）、数団体から案内書を取り寄せたほうが良いでしょう。先輩等で留学経験者がいれば、その人が行ったプログラムを聞かせてもらうことも大切です。

取り寄せたら、内容を良く読んで、不明な点があつたら電話で聞いたり、直接その団体の事務所を訪れたりしてはっきりさせます。特に費用につ

留学体験談 [アメリカ編]



木村 知礼さん (18)

矢板東高校 3年

僕が留学について興味を持ったのは、高校1年のとき、アメリカへショートプログラムで行った友人の話がきっかけです。柔軟性のあるこの時期に、僕もぜひ行ってみたいと思い、英語を勉強しました。父母に相談したところ、父は最初反対の立場だったのですが、相談して結局納得してもらいました。そして、YFUのプログラムに応募し合格し、アメリカに行くことになりました。

留学先は、インディアナ州のオーエンベリ高校です。授業は時間割どおりに受けますが、選択科目もあります。授業のスピードはゆっくりで、問答式の誰もが参加する内容でした。カフ

エティアでの昼食のときは友達をつくるチャンスです。日本に興味のある人も案外いますので、いろいろ日本のこと話をしたり、逆にアメリカのことを聞いたりしました。また、ボイイスカウトにも入って、キャンプ活動を通してたくさんの友人もできました。

ホームステイは4歳の子供がいる普通の家庭です。ホストファミリーとうまくやれるか最初心配でしたが、家事や子守等を積極的に手伝ったりして、快適に過ごすことができました。

本当にあっと言う間の1年間で、素晴らしい体験でした。



いては、各団体とも表示方法が違うので、何が含まれ、何が含まれないのかを確認します。

家族・先生との相談～応募

こうして留学情報を集めたら、まず家族とよく話し合ってください。高校生という立場から、家族の理解と支援(もちろん金銭的にも)がなければ留学はできません。同様に学校の先生にも相談しなくてはいけません。

そして応募をします。提出書類は申込書、学校長等の推薦状、成績証明書、健康診断書、英文による自己紹介や作文等があります。選考試験は筆記及び面接です。さあ、これからがスタートです。

交換留学プログラムの内容

- 団体によって違いますが大体次のとおりです。
▷募集期間 主に、渡航する年の前年の7～10月
▷費用概算 80万円～150万円
▷留学期間 10か月（8月～6月、ただし南半球の国では1月への場合もある）
▷留学先 公立高校が中心

▷滞在先 ボランティアのホストファミリー宅にホームステイ

▷留学国 アメリカ、カナダ、オーストラリア他世界各地

●全国高校生留学・交流団体連絡協議会会員リスト

- ICYE日本委員会事務局 ☎03-3293-7011
- AYUSA インターナショナル日本事務局 ☎03-3434-2636
- 財団法人A F S 日本協会 ☎03-3459-9151
- オープン・ドア日本協会 ☎03-3209-4971
- 国際教育交換協議会日本事務所 ☎03-3581-7581
- 国際教育交流協会 ☎03-3263-1292
- 財団法人国際教育交流馬場財団 ☎03-3837-8831
- 財団法人日本国際教育協会 ☎03-3485-6827
- 社団法人日本国際生活体験協会 ☎03-3261-3451
- Y F U日本協会 ☎03-3406-0141

●主な公的留学相談機関

- フルブライト委員会 ☎03-3580-3231
- 留学情報センター ☎03-3485-6827

留学体験談〔ドイツ編〕

黒田早恵さん(18)

宇都宮女子高校2年



学校で留学希望者のための説明会があり、A F S の留学プログラムの内容を良く知りました。中学3年の頃から外国へ行っていろいろなことを体験したい

と思っていたので、早速応募しました。

留学希望国はドイツでした。“壁の崩壊”等ドイツの歴史に興味があったこと、またヨーロッパに留学するチャンスはなかなかないだろうと思ったからです。そして8月に出発しました。

ハノーバー近郊のシュタットハーゲンのラツツ高校が私の留学先です。最初、ドイツ語が全然わからなく苦労しましたが、ゆっくり話しかけてくれるクラスメートも多く、友達もできま

した。みんなで行ったベルギーや旧東ベルリン旅行は、楽しい思い出です。

ホームステイは、私と同じ高校の娘（バーバラ）がいる家庭でした。バーバラはA F S のプログラムでアメリカに行ったことがあるので、同じ境遇の私の良き相談相手となってくれました。ホストマザーとのやりとりや勉強のことで、何度も彼女に助けてもらいました。

私が留学して学んだことは、日本という国を客観的に見られるようになったこと、また、親切に対して感謝の気持ちを持つようになったことです。



▲旧東ベルリン旅行へいざ出發！

第4回 アジアのタベ

韓国編

カメラルボ。



▲池成子先生によるカヤグム演奏

8月29日(土)、鹿沼市民文化センターで、『第4回アジアのタベ～韓国編』を、(財)栃木県国際交流協会、鹿沼市国際交流協会、栃木県日韓親善協会、栃木県日韓女性親善協会、在日大韓民国居留民団栃木県本部の共催で、開催しました。

韓国の民族芸能であるカヤグム演奏（池成子先生）を始め、韓国人留学生による“お国紹介”、や鹿沼少年少女合唱団の合唱、また物産展や民芸品展示、韓国料理の試食など、韓国気分を味わうため、約500人が会場に集まりました。



▲韓国餅の試食コーナー



▲小山高専の留学生・朴さんによる自國紹介



▲唱楽家の崔先生と池先生（太鼓）による民謡



▲韓国の物産展



▲色鮮やかな展示物を鑑賞する来場者

▶鹿沼少年少女合唱団による
日本と韓国の歌紹介



▲アジア学院の韓国研修生による
歌のパフォーマンス

ようこそ とちぎへ 国際交流員

セシール・ロイさん（25歳・フランス）



8月から栃木県国際交流課に勤務しているセシール・ロイさん（左写真）は、国の外国青年招致事業（JETプログラム）を通して、栃木県の国際交流員として、フランスからやってきました。

セシールさんはベトナムで生まれ、10歳のときに、フランス中西部の海辺町ロシュフォールに移住し、その地で育ちました。その後パリの東洋語文化大学に入り、国際貿易と日本語を勉強し、今年6月に卒業したばかりです。

昨年3月に、研修と旅行を兼ねて1か月間日本

に滞在し、京都・奈良・広島等を訪れたとのことです。「日本の美学について関心があります。主に在学中は、福沢諭吉と夏目漱石を勉強しました。でも一番好きな作家は谷崎潤一郎です」と語るセシールさん。日本語も上手です。

国際交流員としての主な仕事は、友好県であるフランス・ヴォークリューズ県との連絡調整、またフランス語の通訳・翻訳、フランス語講座で教えること等があります。日本でやってみたいことは？との質問に、「仕事を通して日本語をもっと勉強したいと思います。それに日本のいろいろな所を旅行したり、生け花・書道等もやってみるつもりです」と笑顔で答えてくれました。

今秋開催する“とちぎインターナショナルフェスティバル”に、セシールさん他JETのメンバーも参加しますので、どうぞよろしく！

食文化体験交流会

タンザニア料理教室開催

外国の料理講習を通じて異文化を体験してもらう、食文化体験交流会「タンザニア料理教室」が、8月28日(金)・氏家町公民館、29日(土)・黒羽町公民館、30日(日)・田沼町中央公民館で、駐日タンザニア大使夫人、ヌ・ワンドゥさんを講師として招き、開催されました。

料理教室には町内の主婦が集まり、ワンドゥさんの説明を聞きながら、自国の郷土料理である、タンザニア版春巻きのサモーサー、豆料理のマカンデなど数種類を作りました。

でき上がった料理は、参加者のみなさんが試食。「おいしい」との声を連発しながら、料理による異文化交流の楽しさを体験しました。



▲タンザニア大使夫人の料理説明を熱心に聞く参加者（氏家町公民館にて）



セレモニーホール
センチュリー

へいあん

宇都宮市鶴田町(平成・鹿沼インター通り沿い)

TEL 0286-48-1122

フリーダイヤル 0120-48-1165

こちら国際交流最前線

交流会「仲間」

人と人との心の触れ合いを求めて——1991年4月1日、交流会「仲間」は産声をあげました。

町を歩くと多くの外国人を見かけるし、また身近にも住むようになりました。彼らをお客様ではなく、同じ地域社会の一員としてお付き合いをしていきたい…それが私たちの願いです。

交流会「仲間」は、中国語の学習を母体として生まれました。中国残留孤児の方々の帰国後の生活のお手伝いができればと、週一回、中国語の学習を続けています。先生は上海出身の李さん（ご主人は日本人）で、中国語を通して中国の人々の考え方や文化、生活習慣等も学んでいます。

通り一遍ではなく、長いお付き合いをしたいという思いから、主に県内在住の外国の方々との交流を深めています。

残留孤児のお宅訪問、手作りホームパーティー、ぶどう狩り、お花見、ホームステイ受入れ等を通して各国の人々と語り合い、直流ではなく交流となるよう、これからも努力したいと思っています。もちろん県外・国外の方々との交流も大歓迎です。お友達になりました。



◆外国人とのお花見のときのスナップ

読者ひろば

◆「レフェランス」って何？

パリで在外研究を終えて、研究室に戻って来た友人が突然「大嶋さん！イタリア語やろうよ」と言ってきた。フランス語もイタリア語もラテン系で似たようなものだというのである。しかし、よくよく話を聞いてみると、パリ在住中に少し足を伸ばして、イタリア国境のベンチミッディアという地域に行き、その町の古めかしさ、美しさによほど感動したようで、老後はそこで暮らそうというのである。もちろんそこはバイリンガル地域で、フランス語とイタリア語の往来するところである。そんなところで、フランスなまりのきつい日本人のイタリア語が、偶然にも通じてしまったから始末が悪かった。

その友人が帰国する際に、銀行の口座を解約し

電話を取りはずす手続きを済ませようとしたところ、一枚の請求書の右上に「reference」という欄があった。何を書けばよいのかわからないので、大家さんに聞いたが、その説明ではよくわからない。結局それは、電話加入者コードナンバーだったのであるが、実際直面しなければ、ひとつの言葉の意味でさえ理解が難かしいことがある。さらに、中国系の人のフランス語とか、北方・南方系のフランス語とか、お互いに通じないフランス語もあるそうだ。

しかし、そういう言葉と現実の扉を少しづつ開いてゆくことが文化理解であろうし、国際交流はそんないろいろな扉を開けてゆくことのような気がする。

(真岡市・大嶋徹)



宇都宮↔成田空港

空港ターミナル4F出発ロビーに直行！ 毎日4往復・4000円

▶JR宇都宮駅西口関東チサンホテル前 16番のりば発 ▶ 5:20 8:30 12:00 14:00

▶成田空港1F到着ロビー京成カウンター前6番のりば発 ▶ 8:05 15:30 17:00 19:40

ご予約・お問合せ **☎0286-38-1730** または関東バス各営業所へ

関東バス

国際交流Q&A

(日本の大学に入学するには)

Q. 日本の大学・短大に入学したいのですが、どのような準備が必要ですか?

A. まず、自分の希望する大学・学部を大学案内等で調べます。6月になると各大学の願書配付日が決定しますので、志望先の願書は早めに取り寄せて、必要書類を集めましょう。9月には出願が始まります。(各大学によって時期が異なる)

大学によっては、入学試験の他、「日本語能力試験」や「私費外国人留学生統一試験」を受けるよう要求しています。受験案内は8月に書店にて販売され、両試験とも年1回12月に実施されます。「日本語能力試験」は4つの級に分かれ、各級とも文字・語彙、聴解、読解・文法の3セクションから成り立っています。1級に合格するには日本語学習時間が900時間程度とされています。「私費外国人留学生統一試験」は、理科系が数学・理科・外国語で、文科系は数学・社会・外国語です。すべて早めの準備が必要です。

トピックス インド現代舞踊団 馬頭町で公演

現代インド舞踊の最高峰ママタ・シャンカール舞踊団の公演が、8月27日(木)、馬頭町山村開発センターで、馬頭町国際交流会と^財栃木県国際交流協会の共催で開催されました。

男女10数名のダンサーが、伝統衣装を身にまといい、創作現代舞踊やインド各地の民族舞踊を華麗に披露し、会場を訪れた500人の観衆を魅了しました。



Now! 国際連合公用語・英語検定試験 News 受験者募集!

財日本国際連合協会では、国際連合公用語・英語検定試験を次のとおり開催します。なお試験は特A・A・B・C・D・E級の6ランクがあります。

▶試験日=第1次試験…11月8日(日) 第2次試験…12月13日(日) (特A・A・B級のみ)

▶第1次試験受験地=作新学院高等部女子部校舎(宇都宮市)

▶検定料=特A級: 6,800円 A級: 4,600円 B級: 3,500円 C級: 2,400円 D級: 1,300円 E級: 1,100円 (消費税込み)

▶試験方法=第1次試験…特A・A・B級は筆記のみで試験時間は120分。C・D・Eは筆記と一部ヒアリング。試験時間はC・D級90分。E級80分。第2次試験…外国人インタビューアとフリートーク(5分~15分)

▶申込締切日=10月12日(月)。申込用紙は、TIAまたは県内各書店においてあります。(検定料は郵便局でお振り込み下さい)

協会日誌(1992.8.1~1992.9.30)

8/1 海外技術研修員・県費留学生 宮まつり参加

8/2 国際連合公用語・英語検定第二次試験
(コンセーレ)

8/5 第II期日本語講座開講(協会研修室)

8/7 インターナショナルフェスティバル第1回
運営委員会 (自治会館)

8/21~23 国際交流キャンプinばとう(馬頭町)

8/22~23 子どもフェスティバル
(子ども総合科学館)

8/24 海外技術研修員及び研修機関との懇談会
(ニューイタヤ)

8/28~30 食文化体験交流会
(タンザニア料理教室/氏家・黒羽・田沼)

8/29 アジアの夕べ〈韓国編〉
(鹿沼市民文化センター)

9/1~10 21世紀のための友情計画(アセアン混成チーム)来県(宇都宮市他)

9/7~14 浙江省林業視察団来県

9/11 国連関係中学生作文コンテスト審査会
(自治会館)

9/30 留学生支援金交付及び懇談会(くろかみ)

TIA Information Corner

「外国人のための生活相談」開催

TIAでは急増する県内在住外国人と地域の人たちとのより円滑な共住を図るために、外国人を対象にした生活相談を次のとおり開催します。

►日 時=平成4年10月4日(日)・11月22日(日)
10:00~15:00

►場 所=栃木県自治会館

►内 容=法律、医療、労働、人権、その他生活全般に係る相談

►相談費用=無料

—FREE counseling service for foreigners—
We will be able to accept inquiries about legal matters, health, human rights, labor problems, and troubles of daily life.

Date : October 4, 1992. November 22, 1992

Time : 10:00~15:00

Place : Tochigi-Ken Jichikaikan

Counseling fee : Free

For further information call T.I.A. at (0286)-21-0777

とちぎインターナショナルフェスティバル'92

►日 時=平成4年11月8日(日) 雨天中止

►場 所=宇都宮市あけぼの公園（宇都宮市文化会館隣り）

►内 容=各国料理コーナー、民族舞踊、マーチングバンド演奏、国際交流団体活動紹介等
T.I.A. EVENT INFORMATION

～'92 Tochigi International Festival～

The schedule is as follows;

Date : Sunday, November 8, 1992.

編集後記

今回の特集は「高校生の海外留学」。当協会のS・I姫もかつて交換留学でアメリカに行ったとか。また大学留学のN・T姫、語学留学のK・H姫と、女性陣は留学経験者ばかり。一方若手男性陣は、自称“遊学”と、自称“旅学”という、ひと味違う異文化体験者で、どちらかというとマイナーな存在?のようです。

お知らせ

財團法人栃木県国際交流協会は7月から、毎週土曜日を休ませていただることになりました。

The Tochigi International Association has been closed every Saturday from July. Thank you for your cooperation.

Place : Akebono Koen (Akebono Park=near the Utsunomiya Bunka Kaikan)

新刊図書・ビデオ案内(7~8月購入)

Newly-arrived BOOKS & VIDEOS

(図書/BOOKS)

►新日本語の基礎 I (漢字かなまじり、ローマ字版、中国語訳、英語訳、韓国語訳、ポルトガル語訳、タイ語訳、スペイン語訳、カセットテープ8巻)／財海外技術者研修協会 ►外国人労働者のにほんご会話 (日本語・中国語・ポルトガル語・スペイン語)、(日本語・韓国語・タイ語)／日本語教育センター・横山信子著 ►JAPAN THE NEW OFFICIAL GUIDE/Japan Travel Bureau, Inc. ►ありがとうアフリカ/チロンボ・ンゴイ Jr. 著 ►改訂スペイン語の入門／瓜谷良平著 ►出入国管理・外国人登録実務六法／財入管協会編集 ►日本外交史事典／外務省外交史料館日本外交史辞典編集委員会 ►チバラックの丘の麓で／アフマッド・トハリ著、山根しのぶ訳 ►ABC'S of STUDY in JAPAN 1991／財日本国際教育協会 ►JAPANESE COLLEGES and UNIVERSITIES 1991／財日本国際教育協会

(ビデオ/VIDEOS)

►サワッディー・タイランド／財海外広報協会
►国際化ってなんだろう? / 栃木県社会教育課 (中・高生用) ►EDUCATION in BATO/馬頭町教育委員会 ►FOR LIVE IN NISHINASUNO (英語版・ポルトガル語版) ►平成3年度国際交流基金地域交流振興賞／国際交流基金

●ご案内図



※財團法人栃木県国際交流協会では、各企業・団体からのご出捐をお願いしております。当協会の事業にご賛同下さるみなさまのお力添えをよろしくお願い申し上げます。